

# 道

2022・6・29

通信 No 1689



レンゲソウ

- 《今日の練習 6時～8時半》 小坂先生 二宮先生  
・二つの岸 ・わが想いわが詩(他の曲も練習あるかも...)  
《次週7月6日 6時～8時半》 清水先生 小坂先生  
吉野町市民プラザホール  
・モルダウ ・ワクワク (他の楽譜も持参ください)

小学生の頃、小田原銀座にある本屋と小間物屋の間の路地を入った所に住んでいた。その奥隣Kさん宅に時々集まって、お話や紙芝居、幻燈そしてアコーディオンの伴奏で歌を歌った。集会が終わるとお嫁さんが、皆にお菓子を配ってくれた。お菓子を飢えていた時代でそれが目的で誘われるたびに行ったような気がする。そこで初めてロシア民謡を聞いたのではないかと思う。覚えているのは♪・・・忘れられぬ仕事の歌♪のフレーズだけを覚えている。いろいろな歌を歌ったと思うのだが、よく「・・・許すまじ原爆を」を毎回歌っていたのではないかと思う。私はアコーディオンの人が作曲した原爆のことをうたった曲が好きで成長するまで折に触れて歌っていた。一番印象に残っているのは、アコーディオンの人が、NHKのラジオ歌謡に応募して入賞した。サラリーマンの歌だったのだが、その場所でラジオより先に歌えたのが嬉しかったし、その歌がラジオから流れてくるのが不思議だった。

毎日毎日ウクライナのニュースを見るたびに、胸が痛みながら、知ることも必要で思うことにもなるのでは？思い出したのが、原爆反対の歌である。アコーディオンの人が作曲した人の歌を思い出し祈りを込めて一人で歌いたいと思っている。しかし、1番も完全に覚えていないのである。

♪おおぞらを こだます歌は ・・・・絶えて響くよ 限りなく怒りを込めて 百万の祈りを込めて 忘るるな広島の声 語り継げ長崎の声 ああ告げむ世界の友に♪  
この歌を知っている人はいないとは思いますが。 ソプラノ 2 山内ツヤ子

《お四国 NO6》NO5 は去年の10/27 掲載しました。コロナに気を付けてまた旅を再開したいですね。

## 第23番 薬王寺

徳島県最後の寺。ウミガメの産卵で有名な日和佐の海岸近くにある。境内には33段の女厄坂と42段の男厄坂、61段の還暦の厄坂があり、どの石段にも靴が滑りそうなほど一円玉が置かれている。厄年の人がその年齢の数だけ一円を置いて厄落としをするのだそう。

## 第24番 最御崎寺(ほつみさきじ)

高知県に入って最初の札所。室戸岬の突端の山上にある。その下、海に面して御蔵洞という洞窟があって大師の修行の場であった。洞窟の中から外を見ると目前に広がるのは空と海だけ。ここで空海の名を得たという。バスで寺の近くまで行けるのだが、我々は洞窟の脇から昔の遍路道の山道を、ひたすら登ってお参りした。境内に亜熱帯植物が生い茂り、ここが南国であることを改めて思い知らされる。

## 第27番 神峯寺(ごうのみねじ)

太平洋沿いの道から山へ向かい、杉木立ちの陰しい参道を歩き、たどり着いた寺には手入が行き届いた美しい庭園が疲れたお遍路さんを迎えてくれる。 増田 平

運営委員会 7月6日(水) 2時30分～5時00分 県民サポートセンター